

**ECサイトを構築する前に知っておくべき
最適な構築方法を選ぶための
3つのポイント**

5つの構築方法

無料から有償まで様々な選択肢がある



フルスクラッチ

上に行くにしたがって、初期費用も運用コストも高くなるが、数多くの機能が最初から用意されていたり、カスタマイズの自由度が高い構築が可能です。

有償ECパッケージ

ecbeing、SI Web Shopping等

ハイブリッドECパッケージ

CS-Cart、Magento等

オープンソースECパッケージ

EC-CUBE、WooCommerceなど

ASP・SaaS

下に行くにしたがって、初期費用ゼロからでもスタートできるが、機能は提供されているものしか使えません。

BASE、STORES、Shopifyなど

構築方法別の特徴 1

予算が潤沢で開発期間に余裕がある場合

フルスクラッチ

最適なニーズ ECサイトを自社業務フローに合わせた最適なシステムを作りたい場合。

メリット 0から全てを構築するため、予算が許す限りどこまでも自由な開発ができる。

デメリット 開発コストが非常に高く、開発期間も長期に渡り、保守費用も高額になる。
開発会社の変更は非常に難しい。

予算感 初期費用：数千万円～ 月額：数十万円～

有償ECパッケージ

ecbeing、SI Web Shopping、EC-Orangeなど

最適なニーズ フルスクラッチよりコストを抑えながら自由度の高いカスタマイズを望む場合。

メリット ある程度の制限はあるが、自由度を持った開発ができる。
ECに必要な機能がある程度揃った状態から開発をスタートできる。

デメリット フルスクラッチよりは安いですが、ライセンス費が高額で、カスタマイズの際の開発費も高い。
開発会社の変更は非常に難しい。

予算感 初期費用：500万円～ 月額：10万円～

構築方法別の特徴 2

拡張性を担保しながらも予算を抑えたい場合

ハイブリッドECパッケージ

CS-Cart、Magentoなど

最適なニーズ

ECに必要な機能も必要だがカスタマイズや開発会社の自由度も持ちたい場合。

メリット

ECに必要な機能が揃っており、費用を抑えながら自由度の高い開発ができる。ソースコードが公開されており、開発会社が自由に選べ、サードパーティからプラグインなども提供され、開発元からもサポートが受けられる。

デメリット

有償パッケージと比較すると最初に用意されている機能が少ない場合がある。

予算感

初期費用：数十万～ 月額：数万円～

オープンソースECパッケージ

EC-CUBE、WooCommerce、PrestaShopなど

最適なニーズ

初期費用を抑えた上である程度の機能とカスタマイズの自由度も確保したい場合。

メリット

ライセンス費などの初期費用不要でECサイトの構築ができる。ソースコードが公開されており、開発会社が自由に選べ、サードパーティからプラグインなども提供されている。

デメリット

開発元のサポートはなく、カスタマイズや保守は自己責任となる。機能が必要最低限のため、別途プラグイン追加や追加開発が必要となる。

予算感

初期費用：0円～ 月額：10万円～

構築方法別の特徴 3

初期費用を抑えたい場合

ASP・SaaS

BASE、STORES、Shopifyなど

最適なニーズ

初期構築費を抑えてスモールスタートでECを開始したい場合。

メリット

初期費用はゼロか低価格でスタートでき、決済手段も複数用意できる。
システム運用について想定する必要がない。

デメリット

基本的にカスタマイズはできないが、機能としては基本的なものしかないため、商品点数や顧客数、注文数が増えると、運用負荷が高くなる。
ランニングコストが高く、売上のボリュームが増えると割高になる。
クレジットカード決済は、独自契約ができないか、Shopifyのようにかなり割高な手数料率になる。
Shopifyは、アプリを使った一定のカスタマイズはできるが、カート以降の遷移や管理画面でのカスタマイズが限定されるなど制限がある。

予算感

初期費用：0円～ 月額：0円～ ランニングコスト：従量課金

構築方法選定で注意すべき3つのポイント

自社の運用状況にマッチするものを選択する

ECサイト構築において重要なのは、商品を継続販売して売上をあげ続けることであり、そのためには実際の運用業務フローを踏まえた選定が重要です。

自社の業務フローに最適なシステムを選択する



ECサイトの構築方法を選定する際は、社内業務フローのどこまで対応させるのか、また負荷となっている業務をどれだけ減らせるか、を想定して選定することが重要であり、機能面だけで選定をしてしまうと、運用時のコストや負荷が増えてしまう原因になってしまいます。

運用体制を考慮して選択する



ASPやSaaS以外では、ECサイトはシステムのセキュリティ対策やアクセス集中による負荷対応など、システム運用の面で検討をすべき要素が一気に増えますので、自社運用か開発会社で対応するか等、運用体制を想定して構築方法を選択することが重要です。

運用する人員とコストで選択する



ASPやSaaSであっても、デザインを変更するためには、PHPやHTMLの知識が必要な場合も多く、オープンソースECパッケージや有償パッケージでは、自社運用ができる技術者がいるか、開発会社に依頼しての運用が必要なため、「誰が何をどこまで対応し、費用はどれぐらいかかるのか」まで想定して、運用人員とコストを踏まえた構築方法を選択することが重要です。

ECに必須の機能とは？

3+3の必須機能

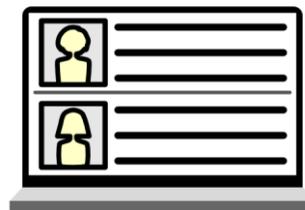
ECサイトの構築や運用を行うためには、必要最低限な商品管理、ユーザー管理、注文管理の機能に加えて、サイト管理、マーケティング、コンバージョンを加えた6つの機能が必要です。

商品管理



商品情報、画像などを管理するための機能です。
商品の数量や仕入れなどを情報を管理する在庫管理機能も含まれます。

ユーザー管理



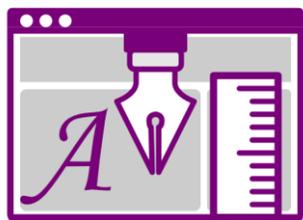
会員登録したユーザー情報を管理するための機能です。
メールマガジンの発行をしている場合の登録情報や、お問合せ情報の管理も含まれます。

注文管理



注文された商品や金額、数量等の情報を管理する機能です。
クレジットカードなどの決済を行う決済管理や、商品の出荷情報の管理を行う出荷管理も含まれます。

サイト管理



ページの追加・更新・編集といったものから、ECサイトやページのデザイン作成や編集までできるCMS機能まで、システムにより大きな差がある機能です。

マーケティング



ブログやキャンペーンの実施、クーポン発行、ギフト券発行、ポイント管理機能など、ユーザーをECサイトに惹きつけるマーケティング管理の機能です。

コンバージョン



売れ筋ランキングや商品レビュー、欲しい物リスト、比較リストなど、ユーザーが購入する後押しをするための機能です。

ハイブリッドECパッケージ CS-Cart

ハイブリッドECパッケージとは？

CS-Cartはオープンソースと有償パッケージの良い所取りが可能

オープンソース



- ライセンス費が不要
- **必要最低限の機能のみ**
- ソースコードの開示によりカスタマイズも自由
- **サポートがなく自己責任で運用が必要**
- バージョンアップが可能

有償パッケージ



- **ライセンス費が非常に高額**
- 多彩な機能が標準装備
- **ソースコードが非開示でカスタマイズは開発元のみ**
- 有償だがサポートがある
- **バージョンアップは基本不可**



- ライセンス費が非常に割安
- 多彩な機能が標準装備
- ソースコードが開示されていてカスタマイズも自由
- 無償と有償の公式サポートが用意されている
- **バージョンアップが無償で提供***

※CS-Cart Stroe Builderは、ライセンス購入から1年経過した後は、別途サブスクリプションライセンスが必要。

CS-Cartの5つの特徴

ECに必要な機能をオールインワンで提供

管理画面だけで完結



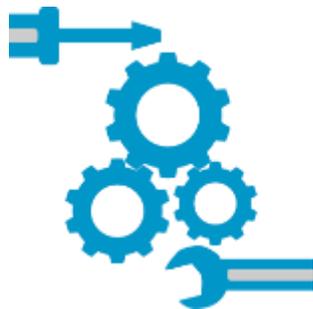
デザインが管理画面だけで可能

多彩な機能



アップデートで機能追加を提供

高い拡張性



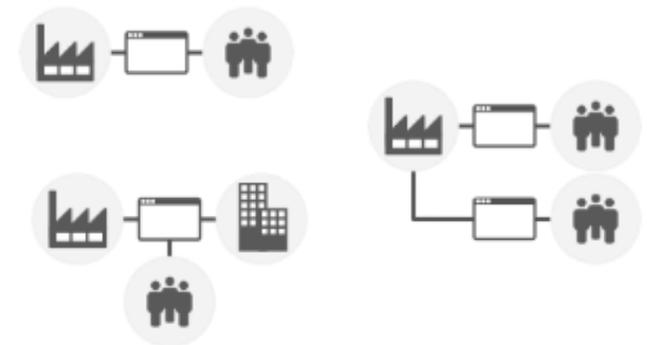
自由にカスタマイズが可能

高い費用対効果



アップデートで機能追加を提供

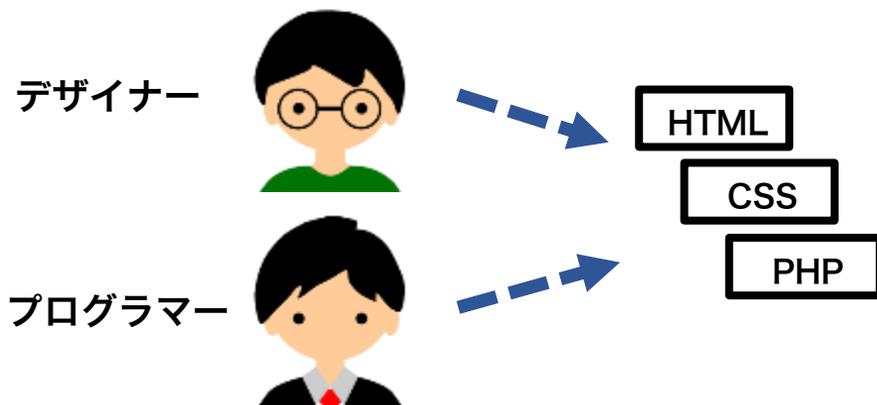
様々なニーズに対応



構築目的別で用意されたライセンス

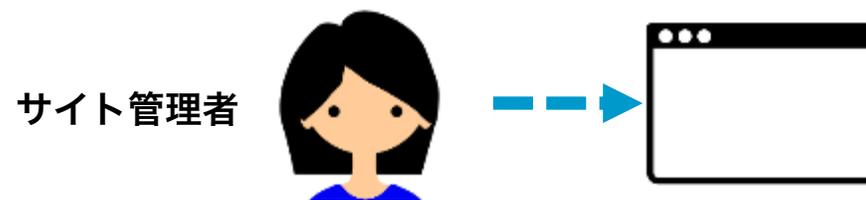
サイト構築・運用を誰でも対応可能に 管理画面だけでデザインの作成・編集を実現

従来のECサイト構築・運用



プログラミングの知識が必要で、サイト管理者だけではサイト構築や運用ができない

CS-CartでのECサイト構築・運用



管理画面だけでサイト構築やデザイン編集ができるため、サイト管理者だけでECサイトの構築から運用が可能

テーマで簡単にデザイン変更



9つのテーマを用意
独自でテーマを作成
することも可能

レイアウトも自由



レイアウトはド
ラッグ&ドロップ
で自由に変更可能

カスタマイズも可能



HTML、CSS、PHP
でカスタマイズも可
能

ECに必要な機能が標準装備

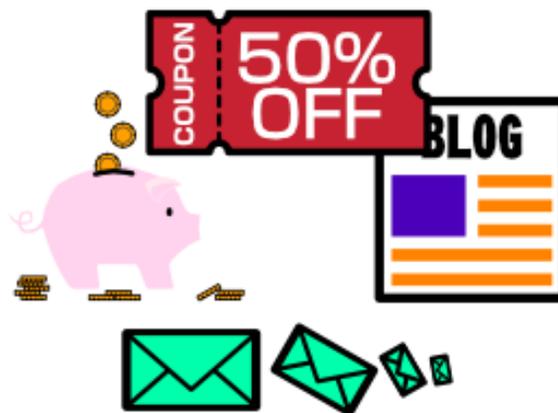
プラグイン購入や独自開発が可能で公式サポートも提供

ECに必須の機能は標準装備



CS-Cartでは、ECサイトでは必須となる商品管理、注文管理、ユーザー管理、配送管理、支払管理が標準で用意されています。これにより、CS-Cartを導入するだけでECサイトの運用をスタートできます。

マーケティング機能が充実



ECサイトの運用においては、キャンペーンの実施やメルマガ発行といったマーケティング機能は必須機能となります。CS-Cartは、キャンペーン管理機能やメルマガ管理機能、ギフト券管理、ポイント管理などの機能も標準で提供されています。

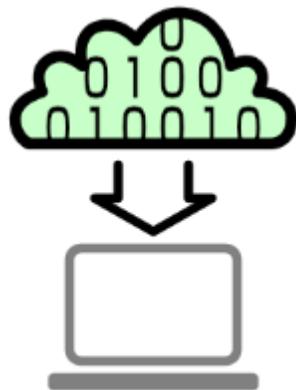
コンバージョンを促進



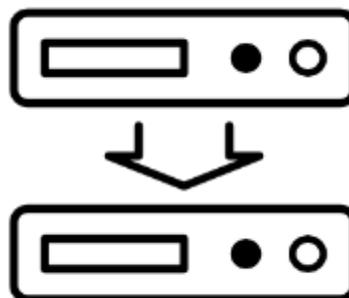
ユーザーに購入を促すためには、よく売れている商品の訴求や商品レビューといった機能は大変重要です。CS-Cartは、ランキングや商品レコメンド機能、会員登録を簡単にするソーシャルログイン機能など、購入を促す機能も標準で提供しています。

様々なシチュエーションにも対応 ダウンロード販売からクローズドサイトまで

ダウンロード販売対応



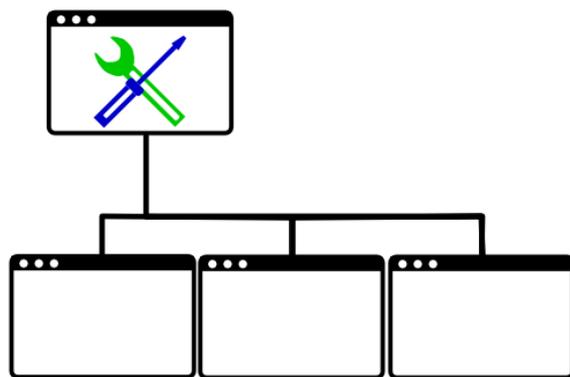
バックアップと復元



多言語・多通貨対応



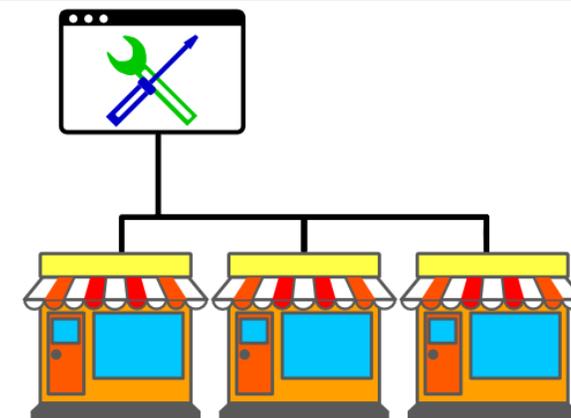
複数サイト管理



クローズドサイト対応



出店者管理



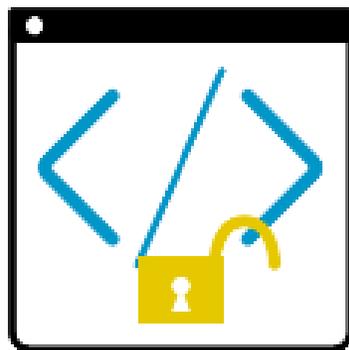
※CS-Cart Multi-Vendor Ultimate、CS-Cart Multi-Vendor Ulimのみ利用可能。

※CS-Cart Multi-Vendor Standard、CS-Cart Multi-Vendor Plus、CS-Cart Multi-Vendor Ultimate、CS-Cart Multi-Vendor Ulimのみ利用可能。

自由度の高い拡張性

ソースコード開示によりカスタマイズが自由

カスタマイズが自由



CS-Cartは、オープンソースと同様にソースコードが開示されています。このため、誰でもカスタマイズが可能で、開発会社も自由に選ぶことができます。

低コストで機能追加



WordPressのようにサードパーティーがテーマやプラグインの提供が可能であり、専用のマーケットプレイスサイトをCS-Cartは用意しています。これにより、低コストで機能追加をすることもできます。

高い費用対効果

無償アップデートで継続して機能追加が可能



CS-Cart Store Builderライセンスは、
買い切りライセンスで1年間は追加費用なしで
無償バージョンアップ ※1



平均年4回のメジャーアップデートで
常に機能追加や改良を実施
マイナーアップデートは随時提供

※1 CS-Cart Store Builderライセンスは、ライセンス購入から1年経過後、無償バージョンアップを行う場合には、アップグレード・サブスクリプションが必要です。アップグレード・サブスクリプションを購入しなくても、継続してご利用いただけます。



CS-Cart Multi-Vendorライセンスは、
契約期間中は無償バージョンアップ ※2



公式の無償サポートが用意されており
有償でのカスタマイズも対応

※2 CS-Cart Multi-Vendorライセンスは、2022年12月からサブスクリプションモデルに変更となり、年間ライセンスのみの販売となりました。

利用シーンに最適化したライセンス形態

BtoC EC、BtoB EC、マーケットプレイスサイト構築に対応

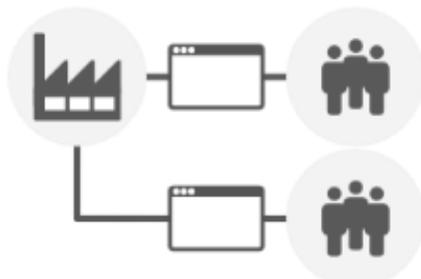
BtoC EC向け



**CS-Cart
Store Builder
Plus**

BtoC向けECサイトを1つ構築・管理・運用できるライセンス。

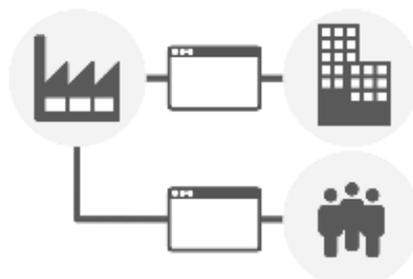
複数の
BtoC EC向け



**CS-Cart
Store Builder
Ultimate**

無制限にBtoC向けECサイトを構築・管理・運用できるライセンス。

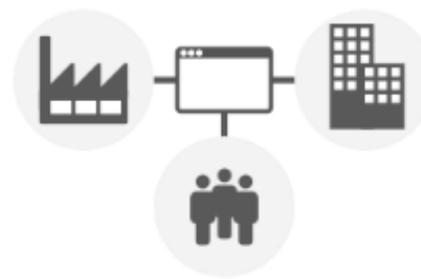
複数の
BtoB EC向け



**CS-Cart
Store Builder
B2B**

無制限にBtoB向けECサイトとBtoC向けECサイトを構築・管理・運用できるライセンス。

商品出品型
マーケットプレイス
サイト向け



**CS-Cart
Multi-Vendor
Standard**

Amazonのような商品出品型マーケットプレイスサイトを構築・管理・運用できるライセンス。

店舗出店型
マーケットプレイス
サイト向け



**CS-Cart
Multi-Vendor
Plus**

楽天市場のような店舗出品型マーケットプレイスサイトを構築・管理・運用できるライセンス。

※1 CS-Cart Store Builderのライセンスは、買い切りライセンス、CS-Cart Multi-Vendorのライセンスは、CS-Cart Multi-Vendor Ulim以外はサブスクリプションライセンスでの提供。

※2 CS-Cart Multi-Vendor UltimateとCS-Cart Multi-Vendor Unlimは、商品出品型、店舗出品型の両方に対応し、無制限にマーケットプレイスサイトを構築・管理・運用ができるライセンスとなっています。

導入事例

数多くの導入実績

世界中で35,000件以上のECサイト

1,300件以上のマーケットプレイスサイトへ導入

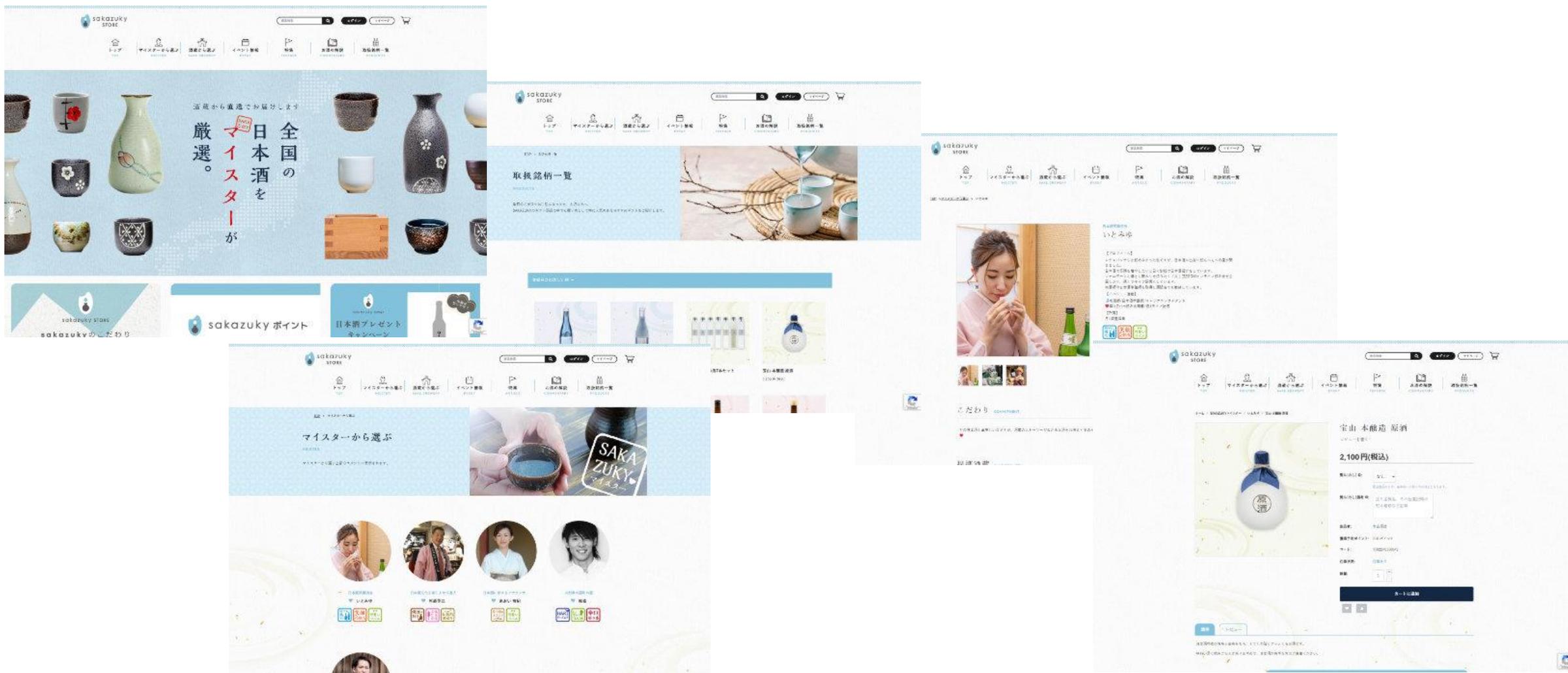
日本国内事例：全日本空輸株式会社及び株式会社LiveArts



The collage displays multiple views of the WAYO SHOP website. On the left, there's a 'STORY' section with a video player and a 'SHOP' button. The main area shows a grid of ceramic products from the 'moderato' series, including teapots, mugs, and plates. A large screenshot in the center shows a detailed product page for a 'cha-pot' teapot, featuring a large image, a description in Japanese, and a price table. On the right, there's a mobile app interface showing a similar product grid and a detailed product view. The bottom of the collage shows a dark navigation menu with various site links.

キューレーションECサイト構築・運用

株式会社スクナヒコ：日本酒ECサイト「sakazuky STORE」



会社概要



企業名	株式会社リソース・シェアリング
設立	2016年2月
所在地	東京都中央区銀座7丁目13番6号 サガミビル2階

事業概要

ITコンサルティング	IT戦略、IT事業戦略及びWebマーケティング戦略の立案及び実施施策立案、企画、検証、構築、解析等の各種コンサルティング
Webデベロップメント	要件定義、プロジェクト・マネジメント(PM)、基本設計、詳細設計、構築、運用、解析
Webサービス	メディアサービス及びプラットフォームサービスの企画・設計・構築・運用

お気軽にお問い合わせください

メールでのお問合せ

info@resource-sharing.co.jp

Webサイト

<https://resource-sharing.co.jp/>

お問合せ先

株式会社リソース・シェアリング
CS-Cart担当